

クリニックレター 2018年7月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

難病と漢方

先日、「大阪難病連」の記念総会でお話させていただく機会がありました。

現在、約330の疾患を難病として厚生労働省が指定しており、いずれも治療法が確立していなかったり、治療に時間がかかる、あるいは、経済的・精神的にも負担の大きい疾患ばかりです。

私が漢方医としてのキャリアを開始した今から約35年前、当時勤務していた県立尼崎病院東洋医学科にも多くの難病の患者様が通院あるいは入院されていました。当時は今と違って治療法の選択肢も少なく、なんとか漢方治療でよくなっていただきたいと、スタッフ間で議論を重ねながら、悪性関節リウマチや神経ベーチェット病など超重症のケースに夜を徹して対応していた思い出もあります。また、当時から現在まで30年以上診させていただいている難病の患者様も複数おられます。

西洋医学の進歩は日進月歩です。特に、生物学的製剤の開発は、膠原病や尋常性乾癬の患者さんに朗報をもたらし、さまざまな抗ウイルス薬の開発により、B型肝炎・C型肝炎の根本的治療も可能になりました。また、(難病とは違いますが)さまざまな癌が感染症によるものであることがわかり、予防や早期発見も可能になりました。それにともない、漢方治療が活躍するシーンも以前とは大きく変化してきました。もちろん、漢方薬が難病に劇的な効果を示す例もないわけではありませんが、基本的には、西洋医学的治療をしっかりとおこないつつ、西洋医学で足りない部分・漢方でなくてはできない部分を漢方治療でしっかりと補っていく、という方法がよいのではないかと考えています。

現在、私が診させていただいている指定難病を裏面に思いつくままに挙げています。(※は現在通院なし) 漢方の考え方の根本は、

- 1) 人体が一個の有機的統一体であり、各臓器や心身の調和・バランスを大切にする
- 2) 自然環境との密接な関係を重視する
- 3) 体の抵抗力(生氣)をつけ、病気になるようにする
つまり、未病を治すことを目標とする

ことに尽きると思います。西洋医学的診断治療と漢方的診断治療を縦糸と横糸のように織り交ぜることで、真に健康で幸せな生活を目指すことができると確信しています。



疾患名

よく用いられる漢方処方

- ・ ベーチェット病・・・半夏瀉心湯・温清飲など
- ・ 全身性エリテマトーデス・・・補中益気湯など
- ・ 全身性硬化症・・・当帰四逆加呉茱萸生薑湯
- ・ IgA腎症・・・柴苓湯
- ・ 潰瘍性大腸炎・・・桂枝加芍薬湯など
- ・ 下垂体前葉機能低下症・・・五苓散など
- ・ 家族性高コレステロール血症
- ・ 好酸球性消化管疾患*・・・桂枝加芍薬湯
- ・ 混合性結合組織病・・・四物補中湯加減など
- ・ シェーグレン症候群・・・滋陰降火湯
- ・ 特発性間質性肺炎・・・小柴胡湯・補中益気湯加減
- ・ 特発性血小板減少性紫斑病・・・加味帰脾湯
- ・ パーキンソン病・・・抑肝散
- ・ 重症筋無力症・・・補中益気湯

その他 原発性胆汁性胆管炎 肥大型心筋症 多発性嚢胞腎* 多発血管炎性肉芽腫症 成人スチル病*など

知っておくと役に立つ、“経穴(ツボ)”の知識(その2)

■三陰交(さんいんこう) 人体には、「気」がめぐる「経絡(ケイカク)」という道筋があり、人では約20の経絡があるとされています。(前回に既出)このうち、足の厥陰肝経、少陰腎経、太陰脾経の三つの経絡が交わる部位なので三陰交という名前がついています。

ツボの位置：足首の踝部位から指3本分上方部位。

働き：女性にとって大事なツボで、生理痛や冷え性あるいは更年期障害などに用います。生理痛や足の冷えに困っている人は三陰交を指圧したり、温灸をおこなうのが効果的です。

- ① 医療機関の広告(ホームページも含む)では、患者さんの治療前後の比較写真を載せたり、「こんな病気が治った」と宣伝したり、患者さんの手記を載せたりすることは禁止されています。たまにそのようなHPを見かけますが、法令違反です。
- ② 都合により、7月12日(木)の午後診を、14:30~16:45とさせていただきます。
- ③ 8月13日(月)14日(火)はお盆の休診とさせていただきます。
- ④ クリニックレターのバックナンバーを西本クリニックホームページに
- ⑤ 載せていますのでどうぞご覧ください。

クリニックHPはこちらのQRSコードから見ていただく事ができます⇒



お車で来院される患者様へ

6月1日より、駐車場スペースを増やしました。なお、歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及び、クリニック周辺の道路には、絶対に車を駐車されないようにお願いします。駐車場で長時間のアイドリングもお控えください。